

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	漁港整備事業		コード	01-01-13-05
			担当課・係	日生総合支所産業建設課・水産係
			担当者	川邊 靖徳
事業実施期間	電話 0869-72-1254			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	港湾・漁港		

事業について	
目的 (何のために)	漁港整備により、漁業経営の安定を図る。
対象 (誰・何を対象に)	漁業従事者及び漁港利用者。
内容	国庫補助(県営)事業及び単県事業に対する負担金の支払い。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
県工事業実施箇所(補助)	1 箇所	1 箇所	
県工事業実施箇所(単独)	3 箇所	2 箇所	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	12,999	直接事業費	6,744	直接事業費		直接事業費	
	人件費	161	人件費	188	人件費		人件費	
	合計	13,160	合計	6,932	合計	0	合計	0

必要人員	0.02 人	0.03 人	
結果指標名	県工事業実施箇所(補助)		県工事業実施箇所(単独)
結果指標量	1 件	1 件	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	8,858,000 円	2,734,000 円	
単位当たりコスト	8,858,000 円	2,734,000 円	
結果指標名	県工事業実施箇所(単独)		県工事業実施箇所(単独)
結果指標量	3 件	2 件	
対前年比	-	66.67%	0.00%
活動にかかるコスト	4,301,279 円	4,198,000 円	
単位当たりコスト	1,433,759 円	2,099,000 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	漁港整備により、利用者の利便性の向上及び、漁業者の漁業経営の安定を図る。		
成果指標名	市からの要望件数		
	式又は説明		
	県営事業の負担金支出		
成果指標量	17年度	18年度	
対前年比	3	3	
到達目標値	-	100.00%	0.00%
	3	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 岡山県建設事業費市町村負担金徴収条例	妥当性評価 < A-E >	C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	漁港整備事業は漁業経営の安定のため必要である。	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A-E >	C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	負担率は県条例で定められている。	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	有効性評価 < A-E >		C
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	成果は向上している。	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 3	結果指標量 2

総合評価	評価区分 < A-E >
成果は向上しており、継続することにより漁業経営の安定を図る。頭鳥漁港(平成13年度より)	C

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果